

こまえ

平成22年(2010年)11月
通巻第51号

図書館だより

—今号のトピックス—

- 1.市制施行40周年記念事業
- 2.図書館ボランティア
- 3.秋の行事報告
- 4.本棚紹介
- 5.録音図書のご案内
- 6.図書館こんな時は…
- 7.今後の行事予定

ホームページアドレス <http://www.library.komae.tokyo.jp>
モバイル版アドレス <http://mb.library.komae.tokyo.jp>



[狛江ゆかりの作家 宮尾登美子さん 一日図書館長の様子]

市制施行40周年を記念した図書館事業の一環として、9月25日(土)から10月31日(日)まで、「宮尾登美子文庫」を設置いたしました(2面参照)。この度、宮尾登美子さんから新たに寄贈を受けました127冊の著書を合わせて蔵書コーナーとし、大勢の方にご利用いただきました。また、10月1日(金)には宮尾登美子さんが一日図書館長を務め、図書カウンターで貸出を行いました。その際には、宮尾登美子さんの姿をひと見したいと、大勢の方が館内に押し寄せました。宮尾登美子さんの本を手には、貸出を受けるため並んだ利用者の方一人一人に、丁寧に対応され、笑顔を向けられていたのが印象的でした。

同日、宮尾登美子さんの著作サイン本の抽選会を行い、新聞やテレビの報道で知り、朝早くから遠方より駆けつけられた方もいらっしゃいました。公開抽選の結果、87人の応募の中から10人の方が当選し、著作の『一絃の琴』にサインをして、ご本人から手渡されました。

※音訳版(カセットテープ・デージー)もあります。ご希望の方は中央図書館にお問い合わせください。

2010
国民読書年

市制施行40周年記念誌

『写真で見る昭和の粕江』

市の文化財委員の井上孝さんをはじめとする方々に全面的なご協力をいただき、市制施行40周年を記念した写真集ができました。市民の方から提供いただいた昭和時代に撮影された写真など 327 枚を収録し、昭和初期の人々の暮らしから 30 年代以降、様変わりする前の町並みの様子も懐かしく見る事ができる一冊です。

この写真集は市内の図書館や図書室で閲覧・貸出ができます。また、ご希望の方には中央図書館事務室にて 1 部 300 円で頒布しておりますので、どうぞお求めください。



刊行しました!

平成 22 年 10 月 1 日発行
30cm 113 ページ
初版頒布価格 300 円

市制施行40周年記念事業



特設展示期間中は、大勢の方にご利用いただきありがとうございました。

今後も宮尾登美子さんからご寄贈を受けた図書は、貸出利用できますので引き続きご利用ください。

宮尾登美子文庫



◇講座報告◇

「図書館ボランティアのための修理と製本」(全3回)

図書館ボランティアとして活動してくださる方を対象とした養成講座を図書館・メディア研究所の小畑信夫さんをお迎えして実施しました。実習では、製本のしくみを基礎から学ぶことで、実際に修理を行う時にどこをどう直せばよいのか、自分で検証することができるようになりました。また、修理に使っても良いテープと使ってはいけないテープについて具体的な説明を聞きながら違いを比べてみました。熱のこもった講演で、図書館ボランティアとしての意義と役割をわかりやすくお話しいただき、受講者も熱心に聞き入っていました。講師考案の「ジャケット袋」は本のジャケットカバーを使った工作で楽しく作ることができ、実り多き3日間でした。



回	月 日	内 容
第1回	9月22日(水) 14:00~16:30	製本(和綴じから洋装のハードカバー仕立てまで)
第2回	10月1日(金) 14:00~16:30	修理(ケーススタディ・破損の対応)
第3回	10月6日(水) 14:00~16:30	講演「図書館ボランティアってなあに？」 工作(ジャケット袋を作る)

講座を修了した13の方が、10月12日から手伝いに来てくださるようになりました。

利用者の皆さんがいつでも使えるようにと、毎朝交代で、開館時間前に調査室の新聞整理をしたり、とても手のかかる本の修理作業は、ていねいに時間をかけて直してくれています。糸が切れてバラバラになってしまった絵本のページは、針と糸を使って綴じ直しもするんですよ。

10月の活動日の5日間で、127冊もの本が修理され、利用者の皆さんに再び貸出が出来るようになりました。次にあなたが手に取られる本は、図書館ボランティアの方が心を込めて直した1冊かもしれません。

図書館ボランティアさんが
活動を開始しました！



◇秋の行事報告◇

◆朗読会◆ 宮澤賢治の世界 ～朗読を聴く～



[中央公民館・第四会議室にて]

9月18日(土)朗読家のおつきゆきえさんによる『宮澤賢治朗読会』を開催しました。

演目は季節感を感じさせる『どんぐりと山猫』幻想的な『やまなし』方言での会話が楽しい『鹿踊りのはじまり』でした。

賢治の作品に込められた思いと、おつきさんの賢治に対する情熱が伝わりとても感動的な会となりました。

後半30分の質疑応答では、一つ一つの質問に対して丁寧な回答をいただき、おつきさんの生き方・人生観の域にまで及ぶ話をうかがうことができました。

◆文学散歩◆

三鷹を歩く

～太宰治・森鷗外

をたずねて～

10月19日(火)くもり空でしたが暑くも寒くもなく、散策には恵まれた天候のなか、三鷹文学散歩・世田谷文学館へ行ってきました。

3グループに分かれ、三鷹観光協会の方に太宰作品の話を変えながらガイドしていただき、太宰治と森鷗外の眠る【禅林寺】までのコースをめぐるしました。

昼食後、『森鷗外と娘たち展』が企画展示されている世田谷文学館へとむかいました。父として夫としての森鷗外、そして娘たちと妻の生き方に触れ、森鷗外作品への関心を深めるものとなりました。



[禅林寺にて]



[三鷹文学散歩コース散策]

◆こども行事◆

「おはなしおばさんの玉手箱」

～藤田浩子さんによるおはなし会～



10月16日(土)に日本全国で「おはなしおばさん」として有名な藤田浩子さんをお招きしておはなし会を実施しました。

午前中は、0～3歳児の親子を対象に、わらべうたや一緒に体を動かして楽しむふれあいあそびを中心とした内容の45分間でした。土曜日のため、ママパパ揃っての参加がありました。

午後は、幼児を対象に、おはなしの小道具をつかったさまざまな演目のほかに、外国でも活動されている藤田さんがアメリカから持ち帰ったおはなしの「ソーディサルレイタス(ふくらし粉)」も聞かせてくださいました。大人の方の参加も多数あったため、最後には特別に大人向けとして「夢長者」「貧乏になれなかった男」の2話を福島弁で語ってくださり、盛りだくさんの75分間でした。



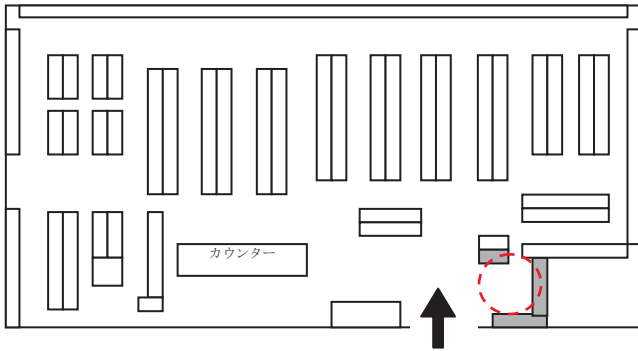
- 1枚目 くまのぬいぐるみを使って
お着替えできるかな？
- 2枚目 カラフルな布を使って
- 3枚目 大きな青い布を使って
♪おおなみ こなみ
- 4枚目 子どもをひざに乗せて
♪たかい山 ひくい山

◇親子読書推進事業◇ アンケートにご協力ください

中央図書館では、市内の子どもの読書環境を調査するアンケートを実施します。乳幼児のお子さんを持つ世帯の家庭での読み聞かせの状況や読書に関する意識調査を目的とした内容を予定しています。詳細は12月上旬に館内ポスターや図書館ホームページなどでお知らせしますので、どうぞアンケートの回答にご協力をお願いします。

本棚紹介

図書貸出室に入ってすぐ右側に丸型の読書用テーブルがあります。それを取り囲むように配置されているのが「暮らしの本」で、右のような内容の本を揃えています。この中で皆さんから特に利用が多いのは「596・料理」の本です。6月の特別整理期間には、さらに細かく分類し、「グルメ」「飲料」「パン」「調理器具」などわかりやすく表示しました。漬物の本をお探しなら「保存食（紫ラベル）」を、魚のさばき方を調べたいなら「魚料理（銀色ラベル）」のところを探してみてください。



暮らしの本コーナー

590	家政学・生活科学
591	家庭経済・経営
592	家庭理工学
593	衣服、裁縫
594	手芸
595	理容、美容
596	食品、料理
597	住居、家具調度
598	家庭衛生
599	育児

◆本の並べ方のきまり◆

粕江の図書館資料は、「にほんじっしんぶんるいほう日本十進分類法」というきまりに従って内容で分類し、本の背のラベルに表示した番号順に並んでいます。

（一部資料は、大きさなどにより別置のものもあります。）

録音図書のご案内

今回は『竜馬がゆく』『街道をゆく』など、史実に基づいた小説や紀行文を多く残した司馬遼太郎さんのエッセイ全4巻を紹介します。

この作品は、歴史上の人物の魅力を発掘した188篇のエッセイを、古代から時代順に集めています。昨年、ドラマ化されて話題になった『坂の上の雲』の主人公である正岡子規や秋山好古・真之兄弟について書かれた文章も第4巻に収められています。この録音図書はカセットテープとCD(DAISY)で所蔵しています。

※著作権法により活字による読書が困難な方のために制作されていますので、一般の方は図書をご利用ください

『司馬遼太郎

歴史のなかの邂逅』

司馬遼太郎／著

中央公論新社 2007年

第1巻 空海～豊臣秀吉

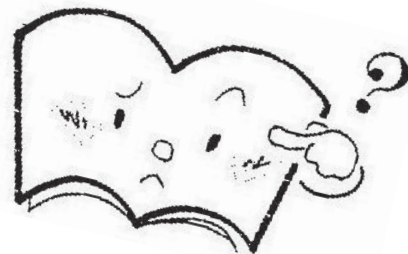
第2巻 徳川家康～新撰組

第3巻 坂本竜馬～西郷隆盛

第4巻 正岡子規、秋山好古・真之
～ある明治の庶民

中央図書館では、図書のままでは読むことが困難な方（視覚障害・寝たきりなど）に、音声に変換する音訳サービスを行っています。このサービスは専門的な技術養成講習を受けた音訳者に協力いただいています。録音図書をご希望の方は、障がい者サービス担当までお申し出ください。図書館への来館が困難な方には、配達や郵便でのお届けもできますので、まずはご相談ください。

本がこわれてしまった！



図書館は、たくさんの市民の方が利用する公共の場所です。ひとりひとりがマナーを守り、お互いに譲り合うことで気持ちよく利用することができます。図書館の蔵書は、大切な市民の共有財産です。限りある図書館資料ですが、ちょっとした心遣いで、長く使い続けることができます。そうした結果、皆さんに利用されてきた資料が劣化し、利用中に本のページがはずれてしまったりするのは仕方のないことです。そんな時は、お手数ですが、返却時にそのままの状態でお持ちになって窓口にお知らせください。また、残念ながら、書き込みや切り取りなどを見つけた場合もお知らせください。

万一ご自身で破損されてしまったら、まずは相談してください。状態によって次に利用される方に支障がある場合は、弁償をお願いすることがあります。

修理が必要な資料ってどのくらいあるの？

1週間につき、およそ30～50冊くらいの修理本がみつかります。これを3ページで紹介した図書館ボランティアの方々が、1冊ずつ手をかけて一所懸命に直してくれています。

どうやって修理するの？

本の修理には専門知識と技術が必要です。図書館では、修理専用のテープや道具を使って作業を行います。好意でも絶対に自分では直さないでください。

市販のセロハンテープなどは、劣化して変色しやすく、実はこれで直されて持ち込まれるのが、いちばん困ってしまいます。



劣化したセロハンテープは茶色く変色し、紙に糊だけが染み込んでセロハンがバリバリになって剥がれてくるので、長く利用する図書館資料の修理にはむきません。

弁償ってどうすればいいの？

利用された方の事由により、万一弁償が必要になった場合には、原則として同じ資料を用意していただきます。どうしても入手不可能な資料は指定の代物資料か代価にて納めていただくこととなります。弁償事由は個々のケースに寄りますが、次の方が気持ちよく利用できるかどうか、一番の判断基準です。

雨の日には、特にご用心！

水に濡れた本は、ふくらんでしまい乾いても元に戻りません。館内で飲食が厳禁なのは、これも理由の一つです。雨の日に来館される時は、衣服や持ち物に付いた水滴にもどうぞご注意ください。



図書館いくな時は...

リサイクル図書の無料配布を今年も行います

図書館で不用になった図書資料や保存年限を終了した雑誌などを払い出し、リサイクル図書として、市民の皆さんに配布する機会を毎年1回つくっています。一部の児童図書や雑誌などは、これに先行して、市内の保育園や児童施設などでも有効活用されています。



11月27日(土)・28日(日)
午前10時～午後4時
中央公民館・地下ホールにて

今後の行事予定

クリスマス とくべつおはなし会

日時：12月22日(水)
15:30～16:00
場所：中央公民館・視聴覚室
協力：狛江おはなしの会くーすけ



文学講演会

白州正子生誕100年記念
白州次郎・正子の世界
(仮タイトル)

日時：2月26日(土)
14:00～16:00
講師：青柳 恵介さん
(成城学園教育研究所勤務)



11月)
27・28日 リサイクル図書配布
(工作イベントあり)

12月)
8日 文学散歩(林芙美子をめぐって)
22日 クリスマスとくべつおはなし会

年末年始
12/28(火)～1/4(火)
上記の期間は休館します

2月)
26日 文学講演会
(白州次郎・正子の世界)

※各行事の詳細は図書館ホームページや館内のお知らせ・「広報こまえ」等をご確認ください

編集後記

実りの秋、スポーツの秋、そして読書の秋。今年も10月に入っても夏が続く、秋らしい日が少なかったですね。皆さんはそれぞれの秋を楽しんでいますか？ 図書館は、秋以降も事業が盛りだくさんです。ふるってご参加ください。おまちしております。(H.N)

〈編集・発行〉

平成22年11月7日発行
狛江市立中央図書館
和泉本町1-1-5
Tel 03-3488-4414